

天候に恵まれた運動会

「今年の運動会は、久しぶりに天気を心配しなくてよさそうだ。」

「予定通り、19日(土)に実施出来そうだ。」

何日か前から、職員室では運動会当日の天候が話題になっていました。それというのも、昨年、北小では運動会が雨で延期になることがあったからです。

こども達、保護者の方々、職員の願いが通じたのでしょうか。当日は朝から良い天気に恵まれました。ただ予報では、最高気温が30度近くなる、ということでしたから、「暑くなる」と覚悟していました。所が途中から雲が広がり、少し風も出て、心配した程には気温は上がりませんでした。当日の最高気温は26度止まりだったようです。9月のこの時期、外で運動するには、最高の気象条件でした。

恵まれた天候の元、こども達はカー杯演技しました。暑いとどうしても後半バテてしまいますが、最後の児童会種目「ザ・サイクロン」までエネルギーに満ち溢れ、競技に応援に頑張りました。

また、心配された新型インフルエンザも、本校では1人の発病者もなく全員が元気に運動会に参加することができました。これも保護者の皆様がお子さんの健康管理にご配慮下さったお陰と感謝申し上げます。(諸事情で当日2名の欠席者が居ましたが)

「北小運動会の特色は」と問われると、次のようなことかと、と思います。

○午後1番目の種目、応援合戦です。

どの学校の運動会でも応援団は大活躍します。ですが、プログラムの中に「応援合戦」として位置づけている学校は珍しいと思います。本校の応援合戦、団長の指揮の下、全員が心を合わせての応援ぶりは見事でした。北小運動会の特色といえるでしょう。

○児童会種目「ザ・サイクロン」の盛り上がりです。

この種目を児童会種目とする学校は多くあります。名前は学校により色々ですが競技内容は同じです。一本の棒を何人かで持ち、コーンを周りながら、戻ってきます。棒が下を通るときは気持ちを合わせジャンプします。コーンを回るときは高学年生は、真ん中の低学年生の走る力を考えながら、回ります。みんなの心が1つにならないと素早くコーンを回れません。競技を通し、協力する心、思いやる心、を学びます。ここまではどの学校でも見られる姿です。

私が感心したのは第2回戦です。初めの競技を終えたチームが全員一丸となって味方のチームを応援しているのです。誰か先生が声を掛けたのでなく、こども達が自然に応援歌を歌い、応援しています。この姿には、私は感動すら覚えました。

閉会式での感想発表では敗れた白組の6年生児童は感極まり、しばらくことばが出ませんでした。その姿を見て、多くの子がたくさんのことを学んだと思います。人は感動が大きければ大きいほど、強く、優しく成れる、といいます。大きな感動をこども達の心に残した運動会でした。

また、運動会の片付け等ではPTA役員の皆様、役員以外の保護者の皆様にもご協力いただきありがとうございました。お陰で短時間で片付けることが出来ました。



